

2006年電波伝搬実験をふりかえって

今年も1、7、φの各地域から参加をしていただきありがとうございました。そして又、無事に『実験』を終えることができた事に感謝申し上げます。

実質の移動ポイント12ヶ所・参加局22局でした。

運用開始時間は、AM9時からのスタートでした。朝からEsが発生し、かなりカブリがあったことが報告されております。この為、弱信号で受信の局との交信が成立しなかった、あるいは交信した積りが他方では感度不良で未成立となってしまうという状況も見られます。

Esによる混信・ノイズはほとんどの移動ポイントで遭遇したようです。ただ、地域的な開け方であったようです。Es地域の沖縄等で待機されていた局があったとしたら残念でした。

天候は、場所により差が出て、みぞれ・雨・曇等であったと報告を受けております。特に悪天候の中で運用された各局はたいへんお疲れ様でした。

(1)最長交信距離

最も遠距離交信だったのは、コントロール局を除き、両局ともモバイルアンテナ設備の交信としては、JH1DXJ/1(埼玉・黒山展望台) ⇔ JK1CZD/7(宮城・蔵王)でした。RS=51でその時のコンディションにも助けられたと思いますが、265.6Kmの伝搬距離はすばらしいもので、今までの中でも異常伝搬ではない所謂『地上波』の伝搬としては屈指の結果の一つであると思われま

す。2位、3位も200Km越でありFBな伝搬距離が出たと思います。

最も遠距離に位置したJA1UPE/1 ⇔ JP1SAY/7は残念ながら交信できませんでした。

(2)最多ポイント交信

JA1VWB/1:9、JH1DXJ/1:9、JA1UPE/1:9、JN1IGI/1:9

移動ポイント9所との交信をした4局が最多ポイント交信局となった。

この4局の移動ポイントは、1エリア移動局の全部と7又はφエリアの1局のいずれかとQSOできた結果上位になった。またJA1WOB/1、7N4GEQ/1、7N4SGU/1がそれに続く。

1エリア以外の他のエリアへ移動した各局は苦戦した結果となっています。他エリアからこの部門で上位へ食い込むのは難しいようです。

コントロール局はさすがと云うべきで11ポイントのQSOは別格です。

(3)運用の反省

今回の実験ははいかがだったでしょうか？技術講習会等でいろいろなことが出てくると思いますが、若干の点を上げます。

- ① スタート時間は09時で良かったか？
- ② 進行方法はどうかだったか？
- ③ 遠地移動の局との連絡は確実だったか？
- ④ その他移動ポイントと確実に連絡は取れたか？
- ⑤ 移動ポイントに満足？

最後に、移動の各局及その他参加しレポート送付頂きました各局、メインコントロール局などご協力頂いた各局に感謝申し上げます。(以上)

de JA1RIZ

(実験結果は、別紙ご覧下さい。)